

【活用事例】 ハードウェアの管理が ソフトウェア資産管理の近道だった

2017年6月9日
横河レンタ・リース株式会社
コーポレートマーケティングセンタ
中井史郎

- 1 . IT資産管理を取り巻く課題
- 2 . 運用事例をPCライフサイクルの視点から
- 3 . まとめ

社名 横河レンタ・リース株式会社

英文社名 Yokogawa Rental & Lease Corporation

設立 1987年1月23日

代表者 代表取締役社長 金川 裕一

資本金 5億2,800万円 (2017年3月31日現在)

決算月 3月

従業員数 744人(男性475人、女性269人) (2017年4月1日現在)

事業内容

【レンタル事業】

「所有から利用へ」をコンセプトにIT機器から計測器、マイクロプロセッサ開発支援装置まで、最新鋭機器をレンタルで提供し、研究・開発から生産・保守メンテナンスまでお客様の事業活動を幅広くサポートします。また計画・調達・導入・運用・廃棄処分もしくはリプレースまでのライフサイクル全般を支える総合的なソリューションの充実を進めています。

【システム事業】

日本ヒューレット・パカード株式会社のプラチナパートナーとして、お客様のITインフラの運用コスト削減、堅牢性と柔軟性の向上を目指した提案をします。IT機器の販売からシステム基盤設計・構築・保守まで、お客様の業務に最大限有効にご活用いただけるための広範なソリューションを取りそろえています。

株主構成 横河電機株式会社 47.35% 芙蓉総合リース株式会社 47.35% その他 5.3%

- なぜ横河レンタ・リースが資産管理に取り組むのか？
- お客様のどんな課題を解決しようとしているのか？

IT資産管理を取り巻く課題

PC管理者を取り巻く課題

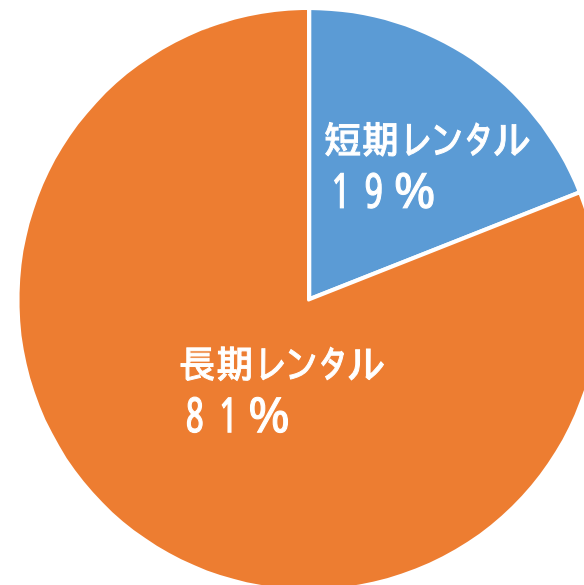
	課題
People	複雑化するリスクへの対応スキル セキュリティ コンプライアンス ライセンス
Process	管理体制 PC管理者の人員不足 アウトソースの検討 廃棄の徹底
Technology	IT資産管理対象に対する新しい技術への対応 管理ツールの有効活用 ソフトウェアTag ライセンスメーターリング 稼働率に応じた最適投資

PCライフサイクルの話しの前に

PCのライフサイクルをお話する前にちょっと前置きを

PCのレンタル期間は

1年以上がメイン

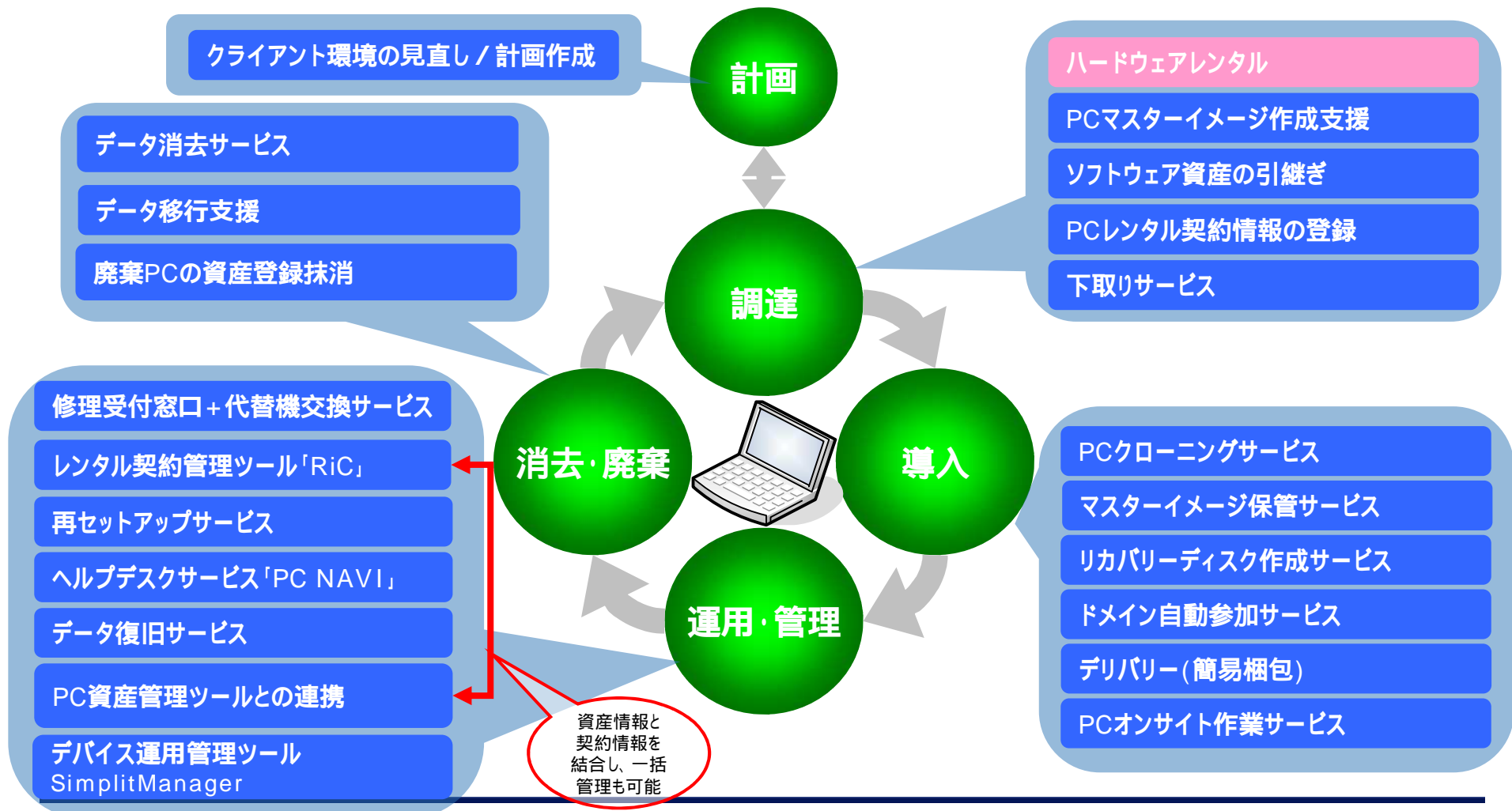


2016年度 出荷台数比率

1年以上の契約を長期レンタルとして集計しています。

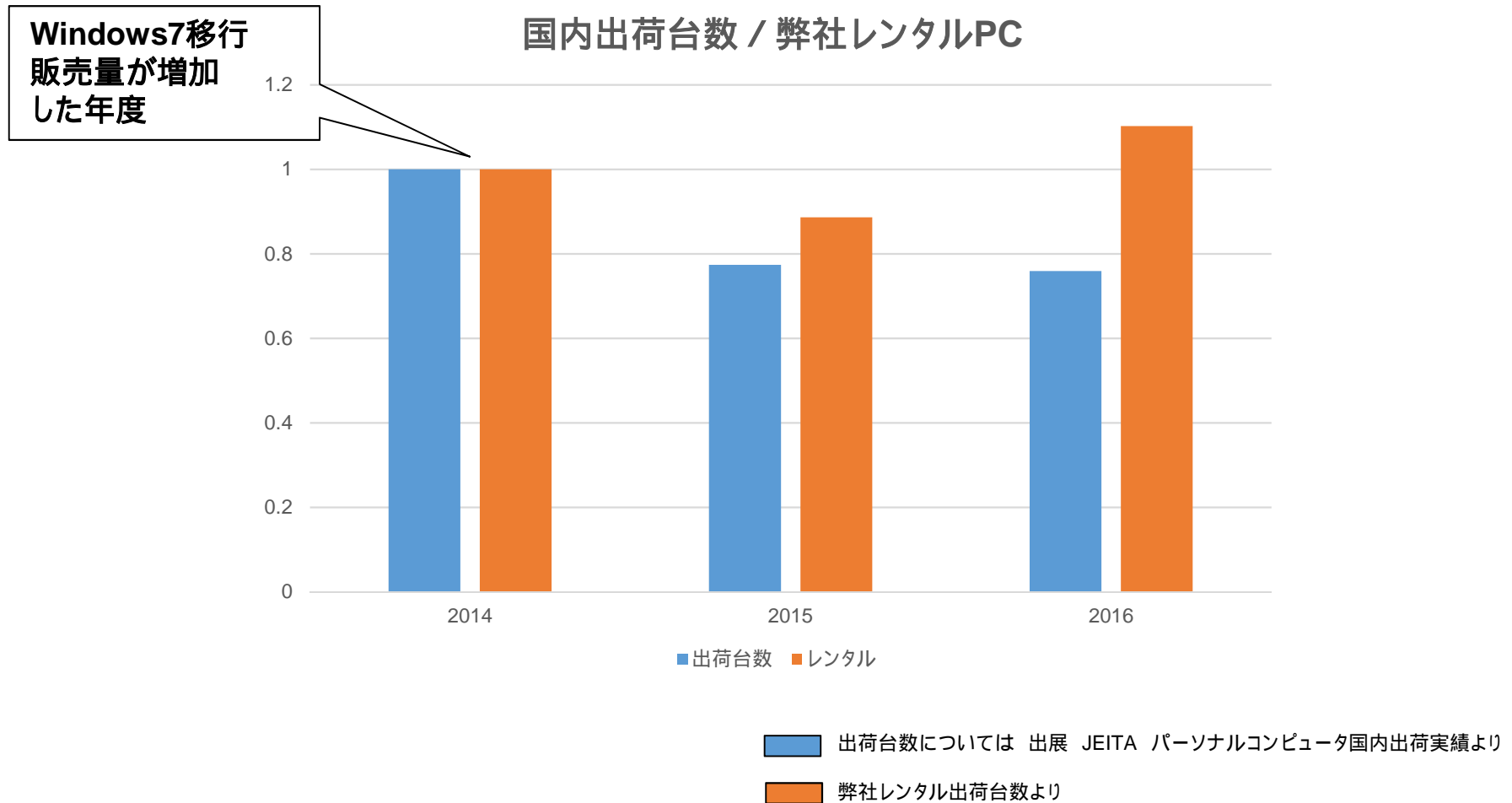
PCライフサイクル管理とPCレンタル

クライアントPCの標準化、運用のアウトソースへの管理者ニーズにお応えしています。



知っている人は使っている

2014年の出荷台数を基準として傾向を比較



運用事例をPCライフサイクルの視点から

事例紹介 企業概要と利用環境

今回事例としてご紹介させて頂く、お客様プロフィールです。

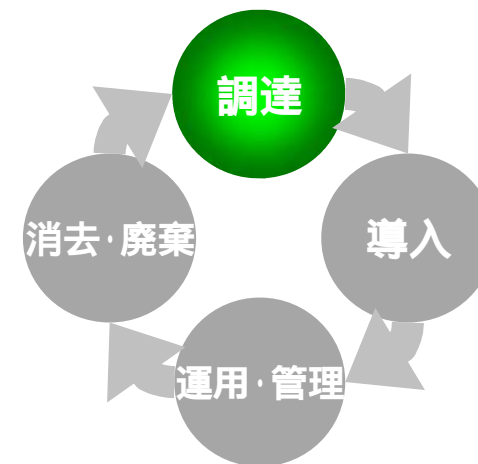
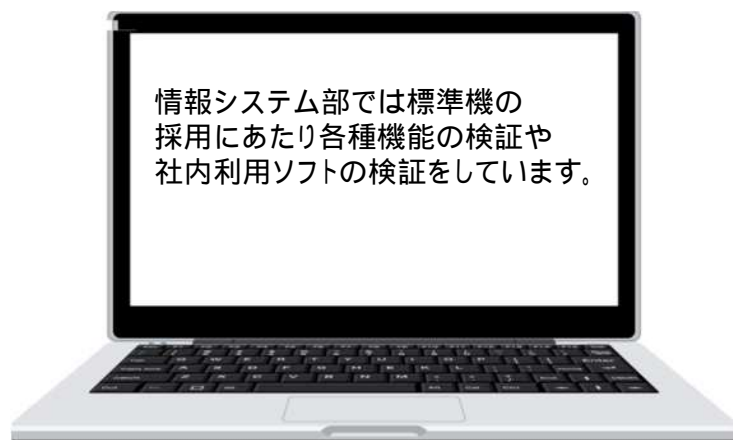
事業内容	ソフトウェア開発(パッケージ、受託開発)
売上高	約480億円
PC台数	約6000台保有。 80%をレンタル中
レンタル契約期間	2年もしくは1年契約している(随時納品)

資産管理ツールとしてSKYSEAをご利用されています。

社内標準機

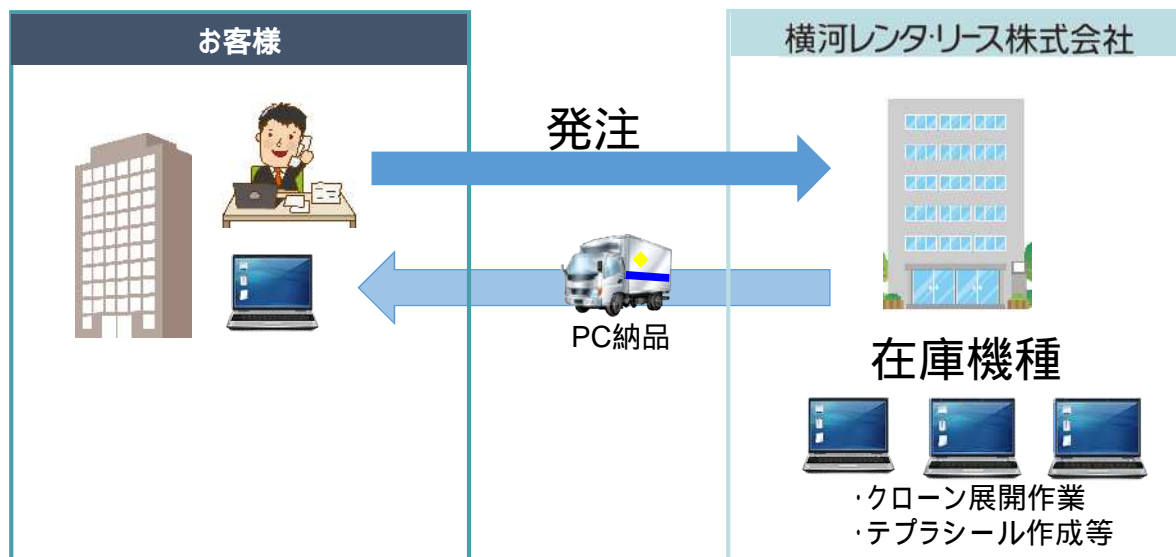
社員の方が選択できるPCの種類を複数決めて、標準機として選べるようにされています。

レンタルPCの情報は社内ブログで社員向けに公開されています。

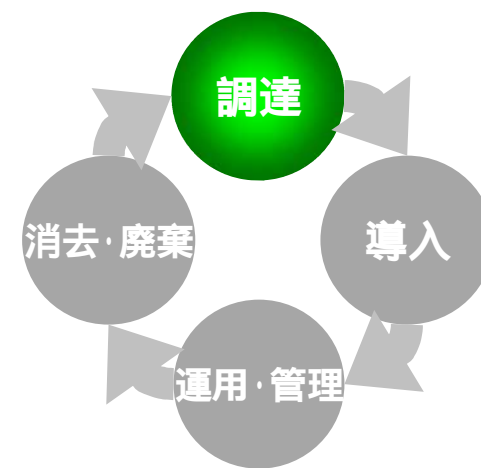


事例紹介 調達でのポイント

レンタル在庫機種を社内標準機として選定すれば**必要なときに必要な台数を揃えやすくなりました。**



現在、企業向けPCのほとんどがBTO(受注生産方式)のため、すぐに入手することは難しい。
在庫モデルにはなるが、欲しいPCがすぐに届くのはレンタルの大きなメリット。

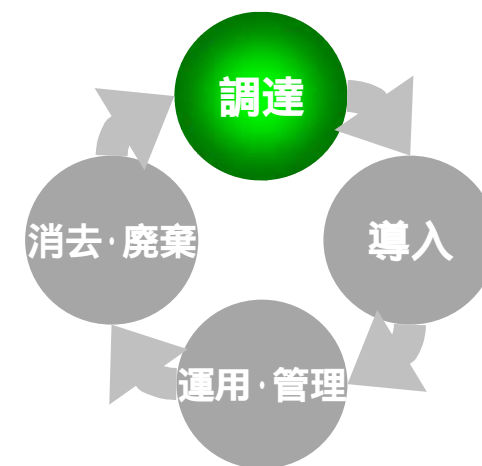


事例紹介 調達でのポイント

メーカーからの**新規出荷終了**でも…

メーカーから新規で出荷が終了しても、レンタル会社に在庫があれば、しばらくは旧OSを入手することが可能です。

その時間で、次期PCのバージョンを検討したり
入れ替えのスケジュールを立てられます。



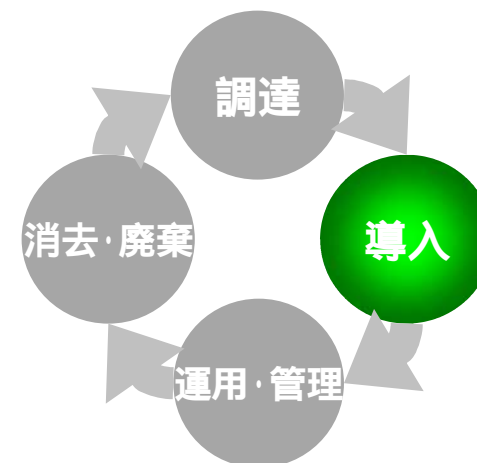
事例紹介 導入でのポイント

◆ 指定した場所に直送

指定した拠点に直送できる。利用したい場所にバラバラに送ってもらえる。

◆ 付属品なし

無梱包や梱包材の回収も依頼できる。ダンボールや大量の発泡スチロールを捨てる手間もなくなります。
付属品も最低限の物だけなので管理の手間も省けます。

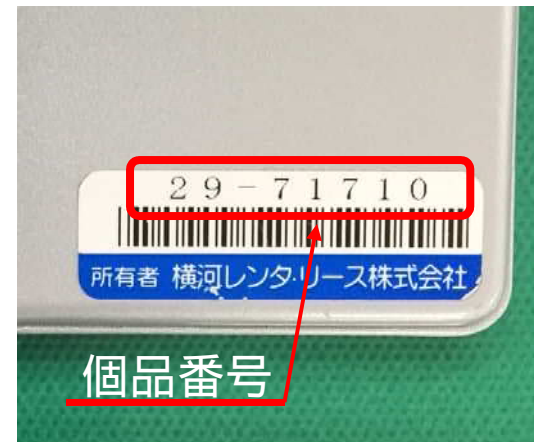


事例紹介 導入でのポイント

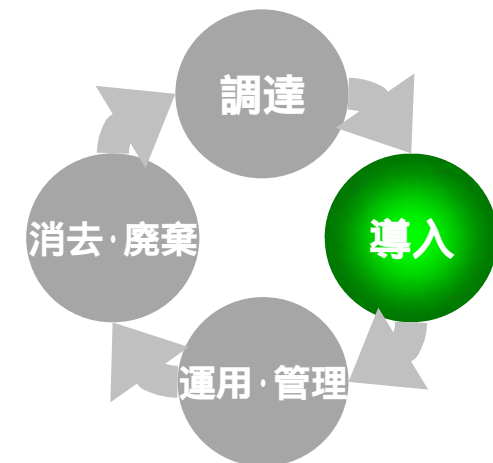
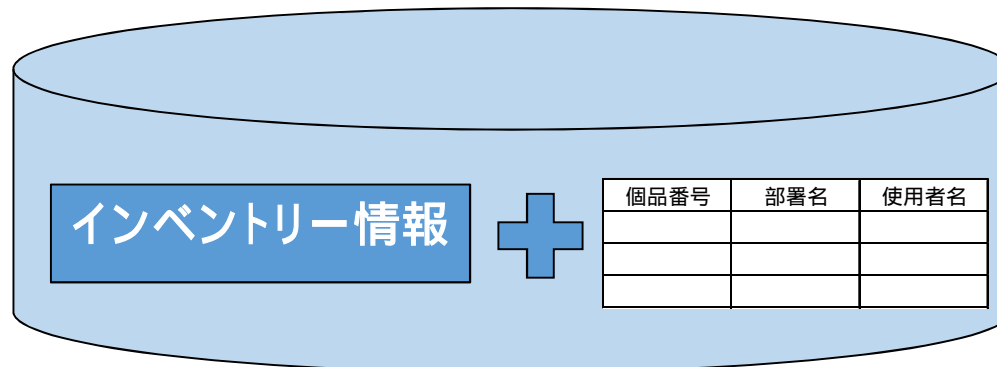
導入時、初回立ち上げると SKYSEAのアンケート機能が起動され、

- ◆ PCの個品番号
- ◆ 部署名
- ◆ 使用者名

を使用者が入力します。

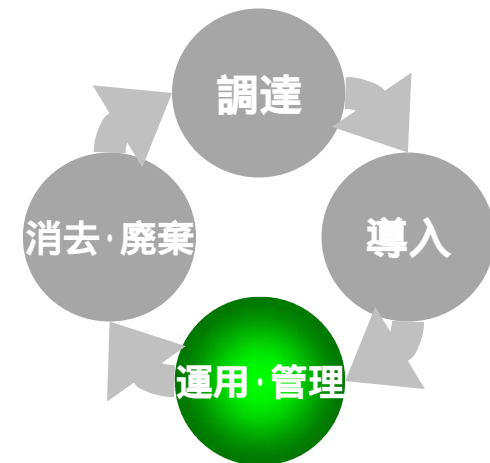
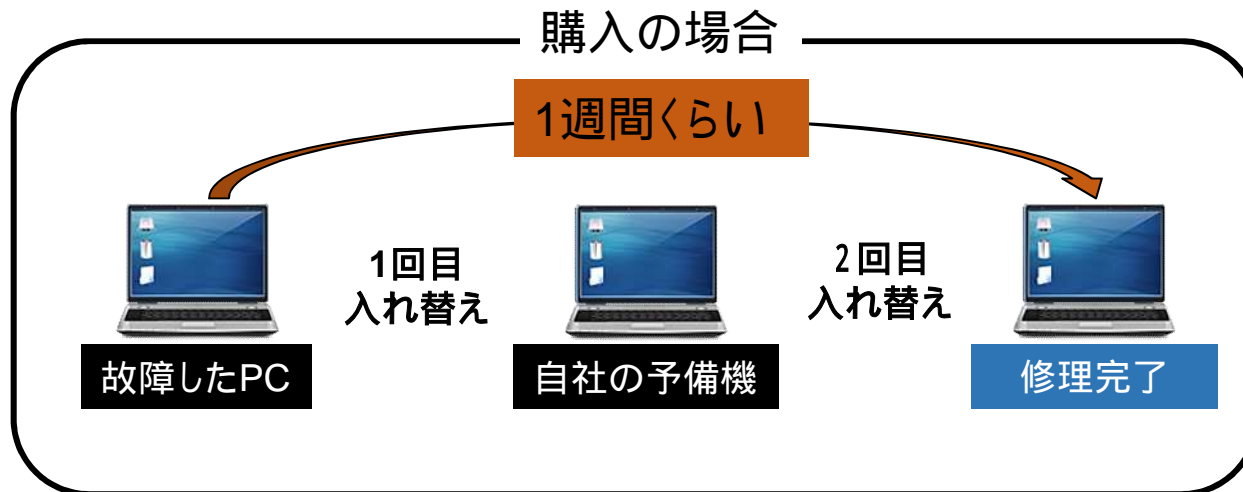
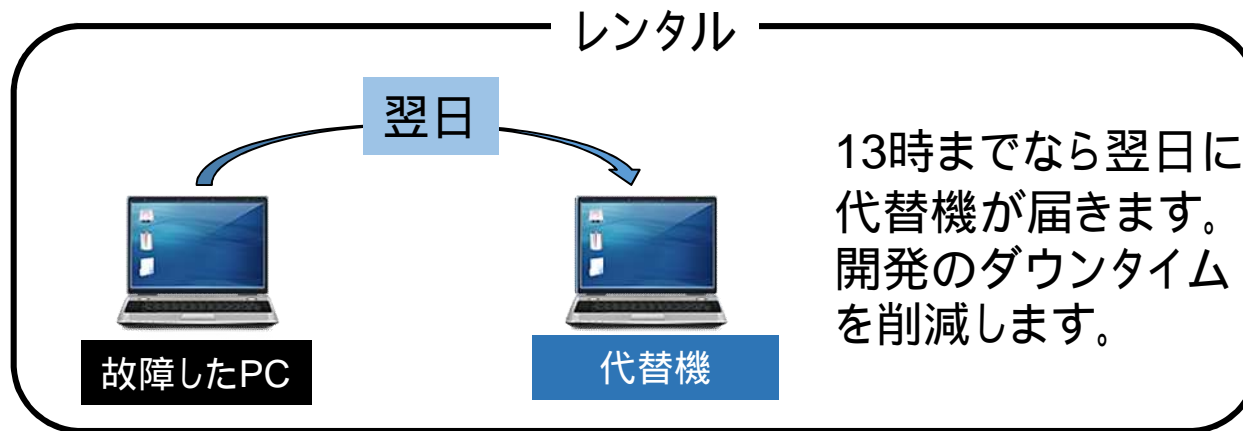


SKYSEA 管理データ



事例紹介 運用でのポイント

PC障害時のダウンタイムの削減ができました。



事例紹介 廃棄でのポイント

まず、廃棄コストの確認をします。

DELL社の場合

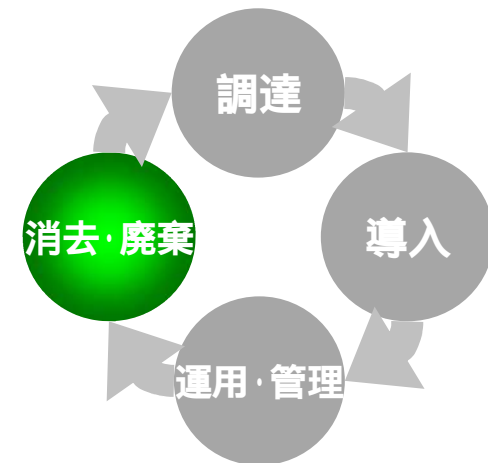
- リサイクルマーク付きPC → メーカーが無償回収
- 1度の回収が9台まで → パソコン3R推進協会で回収
- 1度の回収が10台以上 → メーカーが有償で回収

機種	リサイクル費用
リサイクルデスクトップ	¥ 3,000 -
リサイクルノートブック	¥ 3,000 -
リサイクル液晶モニター	¥ 3,000 -

2017年 6月8日現在

企業向けコンピューターリサイクルサービスのご案内

<http://www.dell.com/learn/jp/ja/jpcorp1/campaigns/environment-recycle-comm-jp?c=jp&l=ja&s=corp>

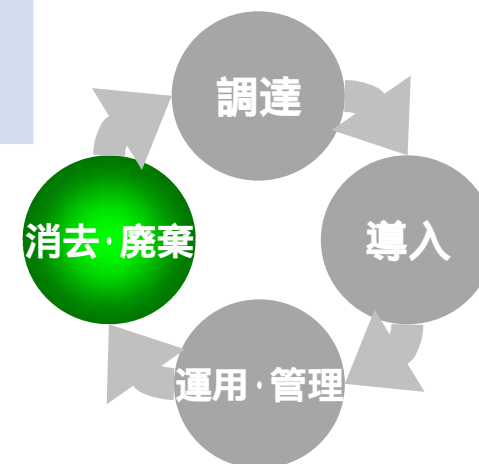


事例紹介 廃棄でのポイント

PCを廃棄しないでいいのはラク

レンタルPCの返却	購入PCの廃棄
レンタル会社が回収するだけ。 廃棄する必要はなし、 レンタル終了日に立ち会うだけ。	メーカー引取りなど廃棄の手続きが必要。 事業用PCはメーカーの回収やリサイクル料金が必要。PCリサイクルマークがついているPCは無償。

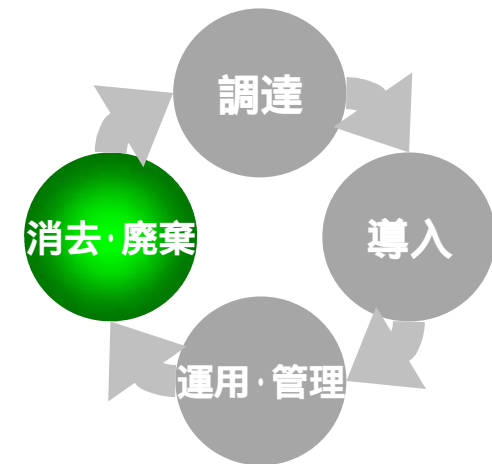
弊社から契約満了PCのご案内が届きます。SKYSEAで個人番号からユーザを調べて情報システム部から、PC返却の通知をします。



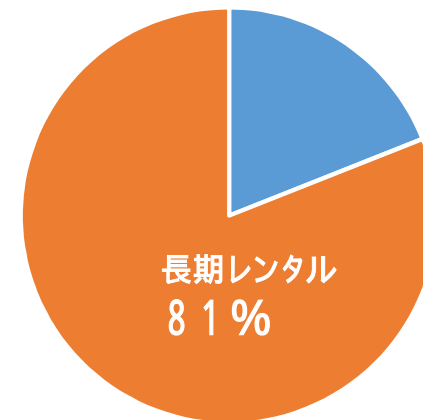
ソフトウェアライセンス管理にも有効

ソフトウェアの廃棄はSAMの分野ではホットな課題になっています。

- ◆ これは、廃棄が不正確のため、
監査で問題になる例が増えています。
- ◆ レンタルPCの場合、契約満了日がくると
確実に回収され、いつまでも社内に
残っていることがなくなります。
- ◆ 契約満了報告に基づいて、SKYSEAの
資産DBからも消去するタイミングが明確
になります。



- ◆ 管理ツールと契約データとの連携をすることでさらに精度の高い管理が実現可能。
- ◆ 購入やリースにはない廃棄(返却)プロセス
- ◆ 運用管理者にとって長期レンタルは、ファイナンスではなくBPOサービスになっている。



本セッションについてのお問い合わせは、下記までお願い致します。

横河レンタ・リース株式会社
コーポレートマーケティングセンタ
中井 史郎 shiro_nakai@yrl.co.jp

SAMAC認定SAMコンサルタント

〒160-0023
東京都新宿区西新宿1 - 23 - 7
新宿ファーストウェスト4F
Tel:03-5908-1833 FAX: 03-5908-1874
<https://www.yrl.com/>